

2013年12月20日

株式会社電通

## 未来トレンドと生活者マインドからビジネスの未来を描く 「未来シナリオ創造プログラム」を開発

株式会社電通（本社：東京港区、社長：石井 直）は、世の中に変化を与える未来トレンドと、今後強まる生活者のマインド（気持ち）を掛け合わせることで、企業が求めるビジネスの未来シナリオを描くことができるプログラムを、日本たばこ産業株式会社<sup>※1</sup>の協力を得て開発いたしました。

近未来を予測しながら商品・サービスを開発したいという企業のニーズが高まっています。しかし、現在世の中に出回っている未来予測は技術開発のロードマップや出来事の年表が大多数を占め、本来ビジネスにおいて最も注目すべき生活者のマインドに焦点を当てたものはないのが現状です。そこで、「未来シナリオ創造プログラム」では、生活者の気持ちの変化に着目してビジネスの将来像を描き、バックキャスト（目標となる将来像に基づく施策立案）の手法で事業や商品の開発テーマを構築してまいります。

「未来創造プログラム」は次の5つのステップで構成されます。

### <ステップ1 ~未来トレンドの選定~>

世の中に変化を与える未来トレンドを選定します。「人口・世帯」「社会・経済」「地球・環境」「科学・技術」の4つの側面から未来を描いた当社オリジナルの「**中長期未来トレンド2014**」、およびそれ以外の着目すべきトレンドの中から、未来トレンドを吟味・選定していきます。

### <ステップ2 ~未来マインドの抽出~>

世の中に影響を与える未来トレンドから、生活者にどのようなマインドが生まれてくるかを当社オリジナルのファシリテーションプログラム「**パワーセッション<sup>®</sup>※2**」を通して広がっていきます。もしくは、既存の59の未来トレンドから生み出した1300余りのマインドと、それを集約した「**58の未来マインド**」を活用していきます。

### <ステップ3 ~重点開発テーマの設定~>

ステップ1と2に基づく、未来マインドから自社や業界における「重点開発テーマ」を創り出していきます。パワーセッションや強制発想などを繰り返しながら、重点を置くべきポイント

トを抽出していきます。また、そのテーマについて、「未来確実度調査※3」で検証することも可能です。

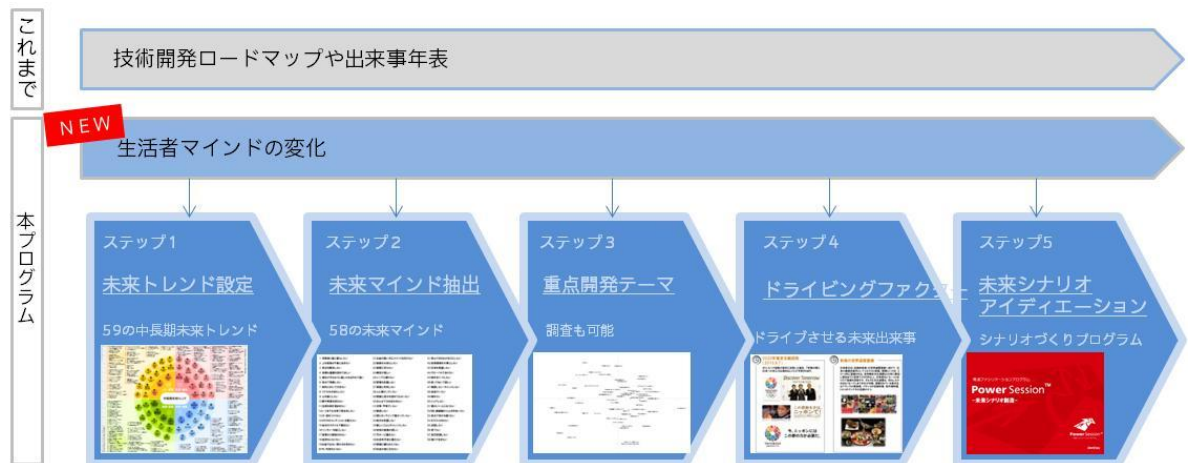
#### <ステップ4 ～ドライビングファクターの抽出～>

現在芽生えているシンボリックな事象やマインドから、開発テーマに与える影響が大きい「ドライビングファクター」を抽出した上で、それを可視化した未来図を描きます。

#### <ステップ5 ～未来シナリオアイディエーションの実施～>

開発テーマや刺激材を使って当該カテゴリーの商品やサービスの「未来シナリオアイディエーション」（開発コンセプトや狙いに基づいて発想されたアイディアスケッチ）を行います。

### ■未来創造プログラムの5つのステップ



本プログラムは、メーカーなどの企業において、以下のような未来シナリオづくりにご活用いただけます。

#### <活用例>

- ◇商品・サービスのパイプラインの策定
- ◇中期的な経営・事業シナリオの策定
- ◇未来の顧客を想定した商品・サービス開発

※1 日本たばこ産業株式会社 たばこ事業本部 事業企画室イノベーション推進担当  
JTグループにおける持続的イノベーション創発をミッションとした組織。

※2 パワーセッション<sup>®</sup>

電通独自のファシリテーションプログラム。発想支援ツールや刺激材を用いたり、オープン・イノベーションの仕組みを活用したりするなど、必要なシステムを駆使して新たなイノベーションを生み出すプログラム。

### ※3 未来確実度調査

58の未来マインドについて、「現時点で感じているか」と「5年後に感じていそうか」という2つの質問に対するマインドのスコア差を算出し、「今後高まる可能性が高いマインド」のランキングを作成。年代別のベスト5は以下のとおり。

20代		30代		40代		50代		60代	
順位	マインド	順位	マインド	順位	マインド	順位	マインド	順位	マインド
1	子・孫をつくりたい	1	万が一に備えたい	1	カラダのコンディションを整えたい	1	子・孫をつくりたい	1	モノを持ちたくない
2	育てたい	2	若者を応援したい	2	効率良くラクに暮らしたい	2	お金ではない豊かさを求めたい	2	家事から解放されたい
3	社会的不安に備えたい	3	カラダのコンディションを整えたい	3	万が一に備えたい	3	モノを持ちたくない	3	毎日がそれなりに楽しければそれで良い
4	万が一に備えたい	4	新しいことにチャレンジしたい	4	社会的不安に備えたい	4	万が一に備えたい	4	心をラクにしたい
5	若者を応援したい	5	お金ではない豊かさを求めたい	5	若者を応援したい	5	効率良くラクに暮らしたい	5	カラダのコンディションを整えたい

以 上

#### 【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報1部  
長澤、溪 TEL : 03-6216-8041

#### 【プログラムに関する問い合わせ先】

株式会社電通 マーケティング・デザイン・センター  
鈴木（禎）・永井（麻） TEL : 03-6216-8459